

その他	言語事項									C 読むこと					B 書くこと					A 話すこと・聞くこと					学習指導要領の指導事項			3年
	(2) 漢字に関する事項		(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び 「C 読むこと」の指導を通して指導する事項																									
	イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと	ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。	キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使えるようにすること。	カ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。	オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。	エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。	ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。	イ 慣用語、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。	ア 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。	エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。	イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。	カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること。	オ 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。	エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。	ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。	ア 広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。	エ 相手の立場や考えを尊重し、話合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。	ウ 話の内容や意図に応じて適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。	イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。	ア 広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。				
						◎				◎	◎													2	わたしを束ねないで	1 心の在り方		
										◎	◎	★		◎							●				5		握手	
			◎			◎																			2		〔言語①〕 敬語	
	○	◎																							1	〔漢字①〕 形に着目して漢字を考える		
言語事項 1年(1)ア						○		●	◎									●				◎	★	◎	★	4	相手を意識して伝えよう わかりやすく話す	(話す・聞く)
							◎			◎	★	◎	◎	◎			○						●			5	メディア社会を生きる	2 社会をとらえる
				◎																					2	〔文法の広場①〕 助詞と助動詞		
	○	◎																							1	〔漢字②〕 異なる意味をもつ漢字		
					○	◎			◎		◎	◎	○	◎	◎	◎		◎	★	◎	★	◎		○		6	新聞の特徴を生かして書こう 情報を発信する	(書く)
							◎		◎		◎		◎								●				2	俳句の可能性	豊かな言葉	
目標(3)							◎			◎	◎		◎													2	高瀬舟	本の世界を広げよう
									◎																	2	読書案内	
									◎		◎		◎			●		◎		◎					2	読書活動 読書記録を工夫する		
							◎			◎	◎										●				2	挨拶―原爆の写真によせて	3 状況に生きる	
						○	◎			◎	◎	★		◎	★			◎		◎	●				6	故郷 身の回りの風景を描写しよう		
言語事項 1年(1)ウ	●						◎																		1	〔言語②〕 比喩と慣用語		
	○	◎																							1	〔漢字③〕 熟語の読み方 重箱読み・湯桶読み		

○印は、その単元・教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる指導事項。
○印は、主たる学習場面はほかにあるが、そこで学習することで、主たる学習場面での学習を支えたり定着させたりすることが望まれる指導事項。
●印は、学習経験として蓄積させる指導事項。
★印は、その単元や教材に位置づけられた「学習の窓」(P3参照)と指導事項との関連を示した。

その他	言語事項										C 読むこと					B 書くこと					A 話すこと・聞くこと					学習指導要領の指導事項		3年
	(2) 漢字に関する事項		(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び 「C 読むこと」の指導を通して指導する事項																									
	イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと	ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。	キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使えるようにすること。	カ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。	オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。	エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。	ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。	イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。	ア 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。	エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。	イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。	カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること。	オ 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。	エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。	ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。	ア 広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。	エ 相手の立場や考えを尊重し、話合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。	ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。	イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。	ア 広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。				
							●		○											◎★	◎	◎	◎	5	話し合って考えを深めよう パネル・ディスカッション	(話す・聞く)		
						◎		◎		◎	◎													1	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	4 古典を楽しむ		
				●						◎	◎							○						2	君待つと 一万葉・古今・新古今一			
						○		○	◎	◎	◎									●				3	夏草 一「おくのほそ道」から一			
						○		○		◎	◎													2	学びて時にこれを読む 一「論語」から一			
	○	◎					◎																	1	〔漢字④〕身の回りの漢字			
						◎	◎			◎★	◎	◎★						○		●	●			5	生き物として生きる	5 論理の展開		
					●	◎						○		◎	◎★	◎★	◎	◎	◎					6	説得力のある文章を書こう			
言語事項 1年(1)ア				◎	◎	◎		◎												●				1	〔文法の広場②〕コミュニケーション			
	○	◎					◎																	1	〔漢字⑤〕 反対の意味の熟語・似た意味の熟語			
目標(3)										◎	◎															炎を見ろ一赤き城の伝説	本の世界を広げよう	
									◎																2	読書案内		
						●			◎																読書活動 資料を使いこなす			
						◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9	未来に向かって アルバムを編み、語り合う	6 人間と言葉		
									◎	◎	◎									○			○	3	アラスカとの出会い			
									◎	◎	◎									○			○	2	温かいスープ			
						◎			◎	◎	◎									○			○	2	奈々子に			
						◎			◎	◎	◎									○			○	2	「はじめに……」について			
	○	◎																						1	〔漢字⑥〕漢字の総まとめ			
言語事項 1年(1)ア				◎	◎	◎		◎																	文法 ①助詞と助動詞 ②コミュニケーション	巻末教材		
	◎																								漢字に親しもう 小学校六年生で学習した漢字			

◎印は、その単元・教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる指導事項。
○印は、主たる学習場面はほかにあるが、そこで学習することで、主たる学習場面での学習を支えたり定着させたりすることが望まれる指導事項。
●印は、学習経験として蓄積させる指導事項。
★印は、その単元や教材に位置づけられた「学習の窓」(P3参照)と指導事項との関連を示した。